

聴覚障がいについて理解を深めよう！

聴覚障がいとは？

「音がきこえにくい」または「まったくきこえない」ことです。
耳の働きに障がいがあって、音や言葉がうまくきこえないことがあります。人によっては「小さい音がきこえにくい人」「言葉が濁ってきこえる人」「まったくきこえない人」など、いろいろなきこえ方があります。



聴覚障がい者が困ることは？

- 見た目だけでは聴覚障がいがあるとわからない
困っていても周りから気付いてもらえない、話しかけられてもきこえないため、返事を返せなく無視されたと誤解されてしまうこともあります。
- コミュニケーションが難しい
相手の話していることが分からないだけでなく、声を出して話すことがうまくできない人もいます。
- 呼び出しや放送がきこえない、わからない
- 周囲の状況がわからない
車が来ても、その音がきこえず危険な目に逢ってしまうこともあります。



聴覚障がい者へのサポートはどうしたらいい？

聴覚障がい者は人によって使う言葉やコミュニケーション手段が違います。
サポートするときは、その人が望む内容、方法を確認してからサポートしましょう。

① 手話言語



手話言語を覚えよう▲
(神奈川県ホームページ)

手を用いて表現をする
伝え方です。

② 筆談



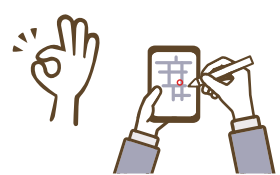
文字によってお互いの
意思を伝え合う
コミュニケーション手法です。

③ 空書



空間に文字を書く
方法で、書くものがない時に使います。

④ その他



身振り、イラストなどを
使って伝えます。

サポートする時に一番大切なこと

相手に伝えようとし、
その相手の話していることを
分かろうとする気持ちです。

マスクをしていると、口元が見えず何をしているか分からないことがあります。聴覚障がい者と話をする時は、できるだけマスクを外すか、筆談、空書、身振り、イラストなどを併せて使いましょう。

